

第六十七回帝國議會
衆議院

倉庫業法案委員會會議錄(速記)第四回

付託議案

倉庫業法案(政府提出)

會議

昭和十年三月五日(火曜日)午前十時三十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 岩本 武助君

理事池田 敬八君 板谷 順助君

國枝捨次郎君 山本 厚三君

出席國務大臣左ノ如シ

商工大臣 町田 忠治君

出席政府委員左ノ如シ

商工政務次官 勝 正憲君

商工參與官 高橋 守平君

商工省商務局長 村瀬 直養君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

內務書記官 永安 百治君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

倉庫業法案(政府提出)

○岩本委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス

○村瀬政府委員 前回倉庫證券ノ發行ニ付

キマシテ、如何ナル基準デ、如何ナル標準

デ許可スルカト云フコトニ付テノ御質問ガ

ゴザイマシタ、之ニ付キマシテハ、大體申請

者ノ資力トカ、設備トカ、人格の條件等

ヲ標準ト致シマス豫定デアリマスコトハ、

前回詳細申上ゲマシタ通りデゴザイマスル

ガ、其標準程度ノ根本ト致シマシテハ、成ベ

ク之ヲ低ク致シマシテ、サウシテ業界ニ極力

變動ヲ與ヘナイヤウニ致シマス、斯ウ云フ

豫定デゴザイマス、デ例ヘバ構造設備ノ如

キモノニ付キマシテモ、是ハ殊ニ板谷サン

ノ御心配ニナツテ居ラレマスル地方ノ倉庫

ニ付テ申シマスルト、地方ノ倉庫ニ付キマ

シテハ、大體保管ニ遺憾ガナイト云フヤウ

ナ點ヲ標準ト致シマシテ、特ニ此際從來ノ

設備ヨリモ高度ノ設備ヲ要求スルト云フヤ

ウナコトハ、極力避ケマシテ、今迄ノ業態

ニ影響ヲナカラシメルヤウニ致シタイ、斯

様ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ第二ノ人格

的ノ條件ニ付キマシテハ、是モ倉庫ノ信用

ヲ重ンズル、斯ウ云フ建前カラ致シマシテ、

例ヘバ一年以上ノ刑ニ處セラレタト云フヤ

ウナ者デ、刑ノ執行ヲ終ツテ後、マダ一定

ノ期間ヲ經過シナイ者デアリマスツカ、或

ハサウ云フヤウナ者ヲ法人ノ役員ト致シテ

居ルト云フヤウナ法人ニ付キマシテハ、信

用ヲ重ンズルト云フ建前カラ、許可ノ際ニ

サウ云フ事情ガアルカドウカト云フヤウナ

コトニ付テハ、十分斟酌ヲ致シタイ、斯様ニ

考ヘテ居リマス、ソレカラシテ資力ノ點ニ

付キマシテモ、是ハ矢張問題ニナツテ居リマ

ス地方ノ倉庫ニ付キマシテハ、格別ニ重イ

資力ヲ要求スルト云フ積リハ毫末モゴザイ

マセヌデ、例ヘバ會社ノ資本金ニ致シマシ

テモ、一萬圓モアレバ十分之ヲ認メテ參リ

タイト思ヒマスルシ、ソレカラ前回山本サ

ンカラノ御質問デ、百坪程度ノ倉庫ヲ認メ

ルカト云フ御話デアリマシタガ、勿論ソレ

モ他ノ方デ支障ガナケレバ認メテ參リタ

イ、斯様ナ趣旨ヲ以テマシテ、極力現在ノ倉

庫營業者ト云フモノニ對シマシテ影響ノナ

イヤウニ、運用ノ上ニ於テハ十分努メテ參

リタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス、ソレカ

ラシテ只今ノハ地方ノ問題デアリマスル

ガ、六大都市ニ於キマシテハ、實情ガ餘程

違ヒマスルコトハ、度々板谷サンノ御話ガ

ゴザイマスル通りデゴザイマシテ、六大都

市ニ對シマシテハ、其事情ニ應ジテ、其標

準ハ高メテ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居リマ

ス

○板谷委員 許可ノ基準ノ事柄ニ付キマシ

テハ、追ッテ政府委員トノ間ニ能ク疑ノアル

所ヲ質シタイト考ヘテ居ルノデアリマスル

ガ、大臣モ大分忙シイヤウデ、御急ギノヤ

ウデアリマスカラ、マダ根本方針ニ付テ了

解シ兼ネル點ガアルト思ヒマスノデ、二三

大臣ニ御伺致シタイト思ヒマス、私ハ先般

來ノ質疑應答ニ依リマシテ、私ノ感じマシ

タルコトハ、此法案ガ適用サレタ曉ニ於キ

マシテハ、先ヅ第一ニ大都市ニ於ケル所ノ

倉庫業ガ獨占的ニナツテ、隨テ保管料ノ如キ

モ或ル程度マデ高クナル、或ハ此法案ニア

リマスル設備ノ改善ト云フコトニ付キマシ

テハ、相當ニソレハ出來ルカモ知レマセヌ

ケレドモ、恐ラクハ大都會ニ於ケル倉庫業

ト云フモノハ、必ズ今私ガ申上ゲタ結果ニ

ナル、斯ウ考ヘテ居リマス、又地方ニ於キ

マシテハ、先般御提出ニナリマシタ參考書

ニ依リマスルト云フト、普通倉庫ガ約三十

萬坪アリマス、之ニ對シテ農業倉庫ガ、恐

ラクハ今日ハ三十萬坪以上ニ達シテ居ルコ

トデハナイカト思フノデアリマス、農業倉

庫ト云フコトハ言フマデモナク、所謂政府

ノ補助ニ依リ、或ハ税金其他ノ上ニ於テ免
除ヲ得テ居ル、所謂特殊ノ倉庫デアリマス、
勿論穀物デアルトカ繭ノ如キ、生産者ノ貨
物ヲ取扱フト云フヤウナコトニハナッテ居
リマスケレドモ、併ナガラ場合ニ依ッテハ普
通ノ品物ヲ扱フコトガ出來ルト云フコトニ
ナッテ居ルノデ、今日産業組合ガ有ユル商品
ヲ取扱ッテ居ル關係カラシテ、將來ニ於テモ
取締ルト云フヤウナ御言葉ハアッタデアリ
マスルガ、恐ラクハ地方ニ於テハ、普通倉
庫ト同様ナ結果ヲ來スガ如キコトニナリハ
シナイカト、斯ウ私ハ考ヘテ居リマス、其
結果ドウナルカト申シマスルト云フト、普
通倉庫ハ何等特典ナクシテ、或ハ設備ニ於
テモ、亦事業ノ状態ニ於テモ、亦保管料ニ
於テモ、一々政府ガ干涉シ、即チ個人ノ自
由ヲ束縛シ、法律ヲ以テ之ニ干涉スルト云
フ結果、何等得ルコトナクシテ、一面ニ於
テ農業倉庫ガ安イ保管料ヲ以テ、之ニ對抗
スルト云フコトニナルナラバ、其結果トシ
テ私ハ寧ロ此法案ノ適用ノ結果、害有ッテ益
無シ——害有ッテト云フ言葉ハ、少シ強イカ
モ知レマセヌガ、恐ラクハ將來ハ此地方倉
庫ナルモノガ、農業倉庫ニ壓倒サレテ、段々
衰退スルト云フヤウナ狀況ニナル、斯ウ私
ハ感ジテ居ルノデアリマス、ソコデ私ハ商

工大臣ニ御伺シタイコトハ、昨日ノ貴族院
ノ豫算總會ニ於テ、統制ニ對スル所ノ御意
見ノ御發表ガアッタデアリマス、即チ「統
制經濟ニ付テハ相當ニ考慮スベキモノアリ
ト考ヘテ居ル、之ニ對スル私ノ考ハ統制經
濟ノ極致トシテハ、國營ト相距ルコト遠カ
ラザルモノト思フ、而シテ私ガ今後ノ經濟
界ニ對スル主義トシテハ、個人資本ヲ活動
セシメ、自由主義經濟ヲ行ハシメ、若シソ
レデ不都合ナル時、初メテ國家ガ統制シテ
行クト云フ考デアアル」斯ウ云フ御意見ノ御
發表ガアッタデアリマス、然ラバ此御考カ
ラ言ッテナラバ、倉庫業ニ對スル所謂一種ノ
統制、許可制度ト云フモノガ御意見ト矛盾
シテ居リマセヌカ、其點ヲ先ヅ伺ッテ置キタ
イ

○町田國務大臣 昨日貴族院ノ藤原君ノ統
制經濟ノ質問ニ對シテ、私ノ考方ヲ申述ベタ
ノデアリマス、板谷サンノ今ノ私ガ貴族院デ
申シタト云フ言葉ハ、何カ新聞ニ依ッテ御覽
ニナッタノカ、或ハ貴族院ノ速記録ニ依ッテ
御覽ニナッタノカ知リマセヌガ、今朝新聞デ
見マス、朝日新聞ノ見出シナンゾハ、私ノ
申シタノト餘程——内容ハ違ッテ居ラナカッ
タガ、見出シヲ見マス、何カ私ガ統制經
濟ヨリ自由經濟主義ヘト云フヤウナ名前ヲ

書イテ、一寸私モ表題ヲ見テ、不思議ナ表
題ガ付イタモノダナト思ッタヤウナ考方ヲ
今朝シタノデアリマシタ、私ノ貴族院ニ於
テ申シタコトヲ、之ヲ極ク簡單ニ申シマス
レバ、自由經濟ヨリ寧ロ統制經濟ヘト云フ
ノガ、私ノ考方ニ一番當ッテ居ヤセヌカト思
ヒマス、私ハ自由放任シテ置クト云フ考方
デハアリマセヌ、已ムヲ得ヌ時ハ國家ガ之
ヲ統制スルコトガ生ズルノダ、併シ今アル
統制經濟ヲ、自由經濟ノ方ニ引戻スト云フ
考方デナク、出來ルダケハ資本ノ活動ヲ自
由ニサシテ、資本主義ノ弊害ガ茲ニ現ハレ
タモノモアリマスカラ、其現ハレタ時ニハ、
國ガ之ヲ統制スルト云フヤウナ見方デアリ
マス、統制經濟ヲ否認シタ見方デアリマ
セヌ、少シ新聞ノ表題ハ變ニ出來テ居ッタ
ト、私ハ感ジテ居リマシタノデアリマス、
同時ニ今アル統制經濟ノ中ニモ行過ギテ居
ルモノアリトスレバ、更ニ之ヲ是正スルコ
トハ勿論デアリマス、併シ大體ハ經濟界ノ
活動ヲ期待スルニハ、國ガ之ヲ統制スルト
云フ建方カラ私ハ考ヘテ居ラス、今御話ノ
通り統制經濟ノ極致ハ、結局國營ト相距ル
コト遠カラヌ點マデ參ル、ソレハ私ノ考方
トシテハ、左様ナ考方ヲシテ居ラス、所謂
自由經濟主義ヲ本體トシテ、之ヲ其儘放任

シテ置ク、資本主義ノ弊ガ生ズル、其弊ハ
國家ノ統制ニ依ッテ之ヲ矯メルト云フ考方
デアリマスカラ、私ノ思想ハ自由經濟主義
ノ思想ダト、斯ウ御覽ニナラレルコトハ、
是ハ私ハ御覽ナサル人ニ御委セシテ置キマ
シテ、結局資本ノ活動ハ、出來ルダケ之ヲ
個人ノ創意ニ委シテ行クト云フ、大體ノ考
方ハサウ云フ考方デアリマス、同時ニ此間
題ハ私モ此法案ヲ出スマデニ、省内デモ相
當考ヘテ見マシテ、出來ルナラバ當業者ノ
自制自治ニ委シテ改善シテ行クガ本體ダ、
所謂自由經濟主義ヲ主トシテ考ヘタノデア
リマスガ、如何ニモ先日大體ノ御説明ヲ致
ス時ニ申上ゲタ通り、倉庫ノ數ガ全國ニ非
常ニ多クアリマシテ、其經營、建築、其他
公共ノ利益カラ見マシテハ、此儘打捨テ、
置ケヌト云フモノモアリマス、又同時ニ倉
庫業者ノ長イ目カラ見マシタ營業ノ利益カ
ラ見マシテモ、相當ナ改善ヲシテ、商品ノ
轉々ヲ便ニスル爲ニ、倉庫證券ヲ發行シ得
ラレル信用ノアル組織ト致シ、經營モ致ス
コトガ、結局多數ノ倉庫業者ノ長イ目カラ
見タ利益デアルマイカト云フ點カラ考ヘタ
ノデアリマス、御承知ノ通り全國ノ多數ノ
倉庫業者ノ中ニハ、ドウシテモ倉庫證券ヲ
發行シテ、銀行ガ信用シテ、其融通ヲスル

ト云フコトニ躊躇スル性質ノモノガ相當多
イコトハ、板谷君方御承知ノ通りト私ハ思
ヒマス、唯之ヲ急激ニヤツテ、今ノ倉庫業者
ニ非常ニ迷惑ヲ掛ケルコトヲ避ケル爲ニ
ハ、多少ノ猶豫期間モ設ケテアリ、只今事
務當局カラ申上ゲタ通り、此法ヲ嚴格ニヤツ
テ、今ノ自由ニ營業シテ居ッタ倉庫業者ニ
急激ナル、窮屈ナル制限ヲスルト云フ考方
ハ、事務當局ハ勿論デアリマセウガ、殊ニ
私トシテハ其營業者ニ出來ルダケ迷惑ヲ少
クシテ、サウシテ長イ間ノ利益ヲ永遠ニ續
ケ得サセルヤウニ改善シテ行クト云フ、極
メテナガラカナ遣方ヲシタイト云フ考デア
リマスガ、現在ノ儘ニ放任シテ置クト云フ
コトハ、如何ニモ營業者ノ利益デモナシ、
又公共ノ性質ヲ帶ビタ倉庫業ノ爲ニモ宜シ
カラスト云フ考方ヲシテ、此法案ヲ出シタ
次第デアリマス、遣方ニ依ッテハ相當營業者
ニ容易ナラヌ迷惑ヲ來ス虞ガアルト思ヒマ
スカラ、此法律ノ運用ニ對シテハ周到ナル
用意ト、注意ヲ加ヘルコトハ勿論デアリマ
ス、或ハ御満足ヲ得ル答辯ニハナラヌカモ
知レマセヌケレドモ、大體ノ私ノ考方ハ今
ノヤウナ考方デ進メタイト思フト云フコト
ヲ申上ゲテ置キマス

○板谷委員 大臣ガ此法案ノ適用ニ付テ

ハ、出來ルダケ緩和ヲシ、成ベク從來ノ業
態ヲ尊重シテヤルト云フ御意見ハ、先般モ
拜承シタ譯デアリマスルガ、若シ從來通り
ニヤルト云フコトニナレバ、是ハ一種ノ空
文デ以テ、何等ノ效ヲ爲サヌ、斯ウ云フ結
果ニナルノデアリマス、併ナガラ此法ヲ法
文ニ基イテ適用スルト云フコトニナレバ、
今申上ゲテ居ル私ノ御話シタ結論ニ到達ス
ル、ソコデ私ハ大臣カラ一ツ能ク御考ヲ願
ヒタイト思ヒマスコトハ、我國ノ倉庫業ハ、
言フ迄モナク今日マデ所謂個人ノ資本案ノ
自由意思ニ委シテ、自然ニ發達シテ參リマ
シテ、其結果是ハ成程中ニハ不正ナモノモ
アツタコトハアリマセウケレドモ、併ナガラ
相手方ノアルコトデアリマスカラ、金融業
者ナリ、或ハ荷主ガ信用シナケレバ、決シテ
其仕事ト云フモノハ成立ツモノデヤナイ、
又此法案ガ出來タカラト云ツテ、幾ラカ倉庫
證券ヲ發行スル上ニ於テハ、多少ノ信用モ
出來ルカモ知レマセヌケレドモ、併シ此法
案ニ依ッテ決シテ信用ヲ増ス譯ノモノデハ
ナイ、其業者ノ力、之ニ依ッテ始メテ倉庫
業ナルモノ、確立ヲ圖ル、斯ウ云フ結果ニ
ナルノデアリマス、所ガ從來偶々證券ヲ發行
シ、或ハ不正ノモノガアツタト云フコトニ
對シマシテハ、是ハ法律上ニ於テ相當ニ取

締ルト云フ途ハ、今日マデ出來テ居ル、唯
私共ガ此法案中ニ於テ、最モ當業者ノ苦痛
ト考ヘマスルコトハ、設備デアルトカ、或
ハ業務規定デアルトカ、保管料、其他ニ干
渉サレル、所謂自由ヲ束縛シ、法律ヲ以テ
之ヲ縛ルト云フコトガ、寧ロ此營業ノ發達
ヲ阻害スル結果ニナリハシナイカ、斯ウ心
配スルモノデアリマス、例ヘバ同ジ倉庫ニ
致シマシテモ、或ハ鐵筋「コンクリート」モ
アリ、石造モアリ、土藏モアリ、板倉モア
リ、鐵板張りモアリ、有ユル種類ガアル、
又其地方ノ狀況ニ依リマシテ、交通ノ便否
ニ依ッテ、倉庫業其モノガ必シモ他ノ仕事
ノヤウニ、自由ニ放任シタカラト云ツテ、サ
ウ其競争ガ盛ニ行レベキ筋合ノモノデモナ
イノデアリマス、デアアルカラシテ、保管料ヲ
一々認可制度ニ依ッテ之ヲ御定メニナツテ、
萬一ソレニ違反シタ場合ニ於テハ、罰金ヲ
科スト云フガ如キハ、個人ノ營業ニ對シ、
所謂一種ノ拘束ヲ加ヘルト云フコトハ、是
ハ私ハ甚ダイカヌ事デヤナイカト思フ、デ
アルカラシテ信用ヲ増スト云フコト、即チ
取締監督ヲ嚴重ニスルト云フコトニ付テ
ハ、勿論異論ガアル譯ハアリマセヌガ、保
管料ヲ認定シテ、是ガ相當デアアル、是ガ適
當デアアルト云フ判斷ガ、恐ラク私ハ付クマ

イト思フ、其場合ニ於テ、或ハ其時ノ狀況
ニ依ッテ、倉ヲ空ニシテ置クヨリハ、保管料
ハ安クテモ入レナケレバナラヌ場合モア
ル、又其品物ニ依ッテ倉庫ハ多少設備ガ不完
全デアツテモ我慢シテ、保管料ガ安ケレバ
宜イト云フヤウナ、採算上カラ來ル場合モ
アルノデアリマス、デアアルカラシテ地方ノ
倉庫業ニ對シテハ、農業倉庫ト云フヤウナ
特殊ナモノガナケレバ、ソレガ爲ニヤツテ
行ケルデアリマセウ、併ナガラ一面ニ於テ
營利ヲ目的トセザル所ノ農業倉庫ガ對立シ
テ居ツテ、安イ倉敷デ以テ入レルト云フ場
合ニ於テ、恐ラクハ從來ノ倉庫業者ナルモ
ノガ、何等得ル所ナクシテ、斯ウ云フ難カ
シイ拘束ヲサレルコトニナレバ、結局立行
カヌノデヤナイカ、デアアルカラシテ、私共
ハ寧ロ從來ノ通り、此倉庫業ナルモノハモ
ウ自由ニ任シテ、自由放任ノ方針ヲ執ラレ
マシテ、今申上ゲルヤウニ、自然ニ整理サ
レル結果ニナルノダラウ、此信念ニ於テハ
私ハ今モ變リマセヌ、色々大臣カラノ御説
ヲ聞イテ居リマスケレドモ、私ノ信念ハ變
リマセヌ、又今御話申上ゲマシタ貴族院ニ
於ケル所ノ、藤原君ノ御質問ニ對スル所ノ
御意見ハ、私ハ今日ハ朝日新聞デ見たノデ
アリマシテ、マダ速記録ヲ拜見ヲ致シマセ

ヌケレドモ、併ナガラ此統制經濟ト云フモノニ付テハ、先日モ申上ゲマシタヤウニ、非常ニ善イコトモアルガ、又非常ニ弊害モ伴ッテ居ル、恐ラクハ私ハ此産業組合が段階進出シテ参リマシタナラバ、世ノ中ニハ産業組合ト大資本家サヘアレバ、中間ノ機關ハ要ラヌト云フ結論ニナリハセヌカ、現ニ昨年北海道ニ於キマシテモ、鮮漁業ナルモノガ合同致シマシテ、其結果事業ニ慣レナイ役人上リノ人々ガ其衝ニ當ッタノデ、思フヤウニ行カナイ、ソコデ日本産業ニ是ガ買収サレテ、所謂大資本家ノ統制ノ下ニ此事業ヲ行フト云フ結果、北海道ニ於ケル從來ノ鮮漁業家ナルモノガ、其職ヲ失フノミナラズ、機關トシテ從來取扱ッ所ノ商人ナルモノガ商權ヲ奪ハレテ、殆ド生産者、消費者ノ中間ノ機關ト云フモノガ段々要ラナクナルト云フ結論ニナル、デアリマスカラ、私ハ商工大臣ガ自由經濟ト云フコトニ付テ、是ハ勿論何事モ極端ニ趨ルト云フコトハ避ケナケレバナラヌコトデアリマスケレドモ、大體相場ヲ人爲ヲ以テ作ルト云フコトハ私ハ宜クナイト思フ、出來ルダケ民間ニ委シテ、サウシテ自然ニ發達ヲスルヤウナ方法ニセネバナラヌ、恐ラクハ私ハ何時カノ時代ニ又自由經濟ニ立戻ルノデヤナイ

カト、斯ウ考ヘルノデアリマス、何カソレニ付テ御意見ガアリマシタナラバ聽カセテ戴キタイト思ヒマス

○町田國務大臣 大體經濟政策ト申シテ宜イデセウガ、大體ノ考方ハ私モ板谷君ト考方ノ根本ヲ同ジウシテ居ルト存ジマス、唯此倉庫業ニ對シテハ相當弊モアル、弊ガアルト申セバ、即チ倉庫業ノ公共的性質ヲ帶ンデ商品ノ轉々シ得ラル、途ヲ開カナケレバ、倉庫業トシテノミナラズ、商品全體ノ安全性ガ確保サレヌト云フ此見方カラ出タノデアリマス、唯私ナドモ此法案ニ對シテ十分其弊ニ陷ルコトヲ避ケルコトニ注意シナケレバナラヌ、或ハ之ヲ免許制度トシテ大資本家ノ獨占事業トナル虞ガアッテハ相成ラヌト云フコトニ思フ致シテ居ルノデアリマスカラ、此獨占ニ傾クト云フコトハ、無論防ギマスガ、板谷君ノ考方ト——是ハ御懇談ノヤウナ傾キニナリマスガ、此儘ニシテ置ケバ亂雜ニナッテ、結局倉庫業ノ信用モ増サヌシ、隨ッテ長イ目カラ見タ倉庫業ノ利益トモ相成ラヌト云フコトヲ、何トカ調和スル方法ヲ講ジタラ宜カラウ、斯ウ云フ御考ガ伺ハレ、バ結構ト思ヒマス、之ヲ自由放任ニシテ、長イ間ニハ倒レル者ハ倒レ、成立ツ者ハ成立ツト云フ、優勝劣敗ノ自然

ニ委セテ置クト言フコトハ、今日ノ狀態デハドウモ相成ラヌト思ヒマシテ、已ムヲ得ズ此法律ヲ作ッタノデアリマス、ソレカラ御心配ノ農業倉庫ガ色々特典ヲ得テ、既ニ三十四萬坪マデ進出シテ來、更ニ是ガ種々ナル特權ヲ得テ居ルガ爲ニ、一層是ガ進出シテ來ルグラウ、隨ッテ一般ノ倉庫業ノ活動ノ範圍ガ狹メラレル虞ガアルト云フ御心配ハ、御尤ナコト、思ヒマス、唯農業倉庫ノ取扱ヒ方ハ、私カラ申ス迄モナク、農業者ノ生産物ヲ主トシタノデ、今ハ主トシテ米穀、繭ノヤウナモノガ農業倉庫ノ主ナル品物ト思ヒマス、御話ノ如ク餘ッテ居ル時ニハ、ヤハリ農家ノ生産シタ他ノ物モ入ッテ居ルト思ヒマスガ、是ハ主義ノ上カラハ、一般ノ商業倉庫ノ發達ヲ促ス爲ニ、産業組合ヲ本トシタル農業倉庫ヲ廢ス譯ニハ無論参リマセヌガ、米穀統制法ノ委員會ニ於キマシテモ、現ニ農林大臣ガ常ニ能ク説明セラ

邊ノ折合ガ付ケ得ラレルグラウト思フ、ソレカラ特權ガアル農業倉庫ニ對シテ、普通營業倉庫ノ方ニ特權ガ別ニアリマセヌ、此對立ニ於テハ餘程不利益ナ立場ニアルノデス、特殊ナ農業倉庫ノ特權ニ較ベマスレバ、一般商業倉庫ノ方ノ立場ガ不利益デアルヤウニ考ヘラレマス、併シ私ノ期待シテ居ル所ハ、例ヘバ相當ナ都會ノ所ニ於テハ、倉庫營業者モ相當ノ數ガアリマスカラ、之ニ一種ノ組合ヲ作ラシテ、此組合ニ依ッテ或ハ金融ノ途ヲ圖ルトカ、場合ニ依レバ商工業ニ對スル低利資金等ヲ與ヘル途モアリマスルカラ、左様ナコトデ相當ナ對立ト申シテモ宜イカ、農業倉庫ノ如ク法律上ノ特權ハナイトハ申シナガラ、左様ナ金融上ノ關係、或ハ組合ヲ作ラシテ信用ヲ増加スルト云フヤウナ點デ、相當ナ働キガ出來ヤスマイカ、農業倉庫ニ依ッテ營業倉庫ガ成立タヌト云フ考方ハ、私ハ少シ杞憂過ギヤセヌカト、斯ウ思ッテ居リマス

○板谷委員 私ハ杞憂トハ思ッテ居リマセヌ、恐ラク此法案ガ實施サレタ曉ニ於キマシテハ、地方ノ倉庫ト云フモノハ、殆ド極端ニ言ヘバ全滅スルヤウナ情勢ニナルグラウ、斯ウ思フノデアリマス、ソレカラ認可ノ基準ト云フコトニ付キマシテハ、是ハマダ能

ク御聽キセナケレバ諒解シ兼ネルノデアリ
マスガ、兎ニモ角ニモ許可權ト云フモノハ
官廳ガ持ツテ居ル、ソレハ自由ノ判斷ハナ
イデアリマセウ、一定ノ標準ニ依ッテ許可ヲ
ナサル考デアラウケレドモ、併ナガラ所謂
活殺ノ權利ヲ有ツテ居ル以上ハ、隨ッテ是ハ
獨占ニナルト云フコトハ免レヌ所デアリマ
ス、ソレカラ何カ適當ナ事務ノ緩和策ガナ
イカト云フ言葉ガアルノデアリマスガ、私
ハ商工省ガ倉庫業ヲ監督ナサルニ付キマシ
テ、二萬三千六百圓ノ費用ガ計上サレテ
居ルノデスカラ、此監督ト云フコトハ、倉
庫證券ヲ發行シテ居ル以上ハ、即チ之ニ利
害關係ヲ有ツテ居ル所ノ金融業者竝ニ荷主
ナル者ハ、常ニ監督シテ居ルノデ、殊更ニ
不正な證券ヲ發行シテ居ルノデハナイカト
カ、或ハ不正ナ事デモアルノデハナイカト
云フコトマデオ役人ガ御見廻リニナッテ見
タ所デ、中々分ルモノデハナイ、利害關係
ノアル者ハ常ニ此點ニ付テハ注意ヲ拂ッテ
居ル、恐ラクハ此監督ト云フコトハ、或ハ
設備デアルトカ或ハ事業ノ内容デアルト
カ、或ハ保管料ガ高イカ安イカト云フヤウ
ナ點ニ付テ、或ル程度マデ制肘サレルト云
フコトノ御考デハナイカト思フガ、斯ウ云
フ事ハ今大臣ノ御話シノ如ク、其土地々々

ノ組合ニ御委セニナッテ然ルベキ事デア
ルと思フ、何モ殊更ニ役所デ以テ之ヲ監督シ
テ、個人ノ營業ノ自由ヲ拘束シ、或ハ之ニ
對シテ彼此レ干涉ガマシイ事ヲ爲サル必要
ハ無いノデハナイカト思フ、此法律ガ出來
タカラト云ウテ、決シテ倉庫證券其モノ、
信用ガ確立スルト云フ筋合ノモノデハナ
イ、營業者ノ力ニ依ル、是ハ前ニモ申上
ゲテ居ル通り、法案ニ依ッテ縛ラレルト、非常
ニ窮屈ニナル、是レ以外ニ私ハ倉庫業者ノ
受クル利益ト云フカ、或ハ害ト云フカハナ
イダラウト思フ、デアリマスカラ、是ハモット
能ク一ツ御考ニナッテ見テ、ソナニ急イデ
此法案ヲ今決メナケレバナラヌト云フ筋合
ノモノデハナイノデスカラ、一先ツ御撤回
ニナッテ、更ニモット御練リ直シニナッテ見
ラドウカト、斯ウ考ヘルノデアリマス、如
何デアリマスカ

○町田國務大臣 細カイ方面デ私ガ是カラ
御答辯スルコト、此法文ノ細カイ點ニ私
ノ申上ゲル事ト、或ハ衝突スルカモ知レマ
セヌガ、其時ハ訂正シマス、シマスガ、私
ノ考方ハ今ノ板谷君ノ地方々々ニアル群小
ト云フ言葉ヲ使ッテ惡イカモ知レマセヌガ、
獨立シタ小サナ經營ノ倉庫ガ、地方ニハ相
當アリマス、サウ云フ時ニ組合ヲ作ラシテ

行ク、其點迄ハ板谷君モ御考ガ御一緒ノヤ
ウニ思ヒマス、サウシテ其組合員ノ自治ニ
委シテ置ク方ガ宜イデヤナイカト云フ御話
デアリマス、是モ大體私御同感デアリマス、
出來ルナラバ自治統制デ行キタイト云フノ
ハ私ノ考方デアリマス、併シ從來ノ例ニ依
リマシテ、自治統制ニ委シテイカナイ場合
ガ相當アルノデアリマスカラ、其場合ニハ
初メテ官廳ガ監督スル、出來ルナラバ自治
統制ニヤリタイト云フ考方ハ御同感デアリ
マスカラ、自治統制ガ相當ニ參ッタ場合ニハ、
政府ガ餘リ之ニ監督權ヲ及ボスト云フコト
ハ、申ス迄モナク差控ヘル事ハ勿論デアリ
マス、私ナドモ自治統制ヲ希望スルノデアリ
マス、自治統制ノ旨ク行カヌ時ハ、已ムヲ得
ズ出ルト云フコトデ、他ノ統制問題モアリ
マスガ、主體ハ矢張自治統制ヲ主體トシテ、
ソレデハ困ルト云フ場合ニ、初メテ國家ガ
已ムヲ得ズ統制スルト云フコトデアリマス
ルカラ、今ノ御話ノ如ク之ヲ此儘自然ニ委
シテ置ケバ、自ラ其間ニ改善セラル、ダ
ラウト云フコトハ、一應考ヘラレル方法デア
リマス、大體私等モ已ムヲ得ヌ場合ノ外ハ、
國家ノ監督統制ハ避ケタイト云フ心持ハ、
私トシテハ總テノ商行政ノ點ニソレヲ本
トシテ考ヘテ居マスガ、初メ申上ゲタ通り

如何ニモ全國ニ多數ノ倉庫業者ガアッテ、謂
ハハ餘程亂雜ニ相成ッテ居ル、此儘ニシテ置
ケバ其經營ガ改善セラレナイ虞ガアルコト
ハ十分アルノミナラズ、公共ノ利益カラ考
ヘマシテ、斯ル商品ガ金融業者ニ對シテモ、
世ノ中ニ對シテモ相當ナ信用ヲ得テ轉々セ
シメル必要上、已ムヲ得ズ此法律ヲ作ッ
タノデアリマスカラ、何カ實際ノ御經驗カラ、
此點ヲ斯ウシタラドウカト云フヤウナ御意
見ガアレバ、私共モ出來ルダケ經驗家ノ御
意見ヲ尊重シテ考慮スルコトハ勿論デアリ
マスガ、相當研究ノ末已ムヲ得ズ出シタ法
案デアリマスカラ、遺憾ナガラ之ヲ撤回シ
テ、更ニ考ヘルト云フコトハ御同意シ兼ネ
ル事ニ對シテハ、ドウゾ御諒承ヲ願ヒマス
カラ、簡單ニ申上ゲマスガ、全國的ニ見テ
先ヅ第一ニ設備ノ統制ト云フモノハ出來マ
セヌ、又保管料ノ統制ト云フモノモ出來ナ
イノデアリマス、大臣ハ非常ニ亂雜ニナッ
テ居ルト云フ御話デアリマスガ、私ハ先程來
申上ゲマシヤウニ、地方々々ニ依ッテハ其扱
ハレル所ノ貨物ノ種類ニ依リ、或ハ又其地
方ノ狀態ニ依ッテ、倉庫ノ設備ナルモノハ色
色違ッテ居ルノデアリマス、是ハ勿論一定ノ
基準ヲ設ケルカラト云ウテ、統制ナド出來

ル氣遣ノモノデハナイ、又保管料其モノモ或ハ地方々々ニ組合ト云フモノガアッテ、或ル一定ノ比率ト云フモノハ決メテ居リマスケレドモ、併ナガラ貨物ノ集散ノ状態ニ依ッテ統一ト云フモノハ中々困難デアリマス、然ルニ營業者自體ノ利害ノ爲ニ、保管料ヲ或ル場合ニ依ッテ下ゲナケレバナラヌトカ、或ハ變更シナケレバナラヌト云フモノヲ、一々官廳ガ干涉シテ許可ヲ得ル、若シソレニ違反シタナラバ罰金ヲ科スルト云フ、斯ノ如キ營業ノ自由ヲ束縛スルガ如キ法案ハ、是ハ考フベキモノデヤナイカト、斯ウ思フノデアリマス、マア何レ此許可基準ニ付キマシテハ、モット具體的ニ承リマシテ、又大臣ニ御尋シナケレバナラヌ事ガアルカモ知レマセヌ、大變御急ギノヤウデスカラ、私ノ大臣ニ對スル質問ハ此程度ニシテ置キマス

ズ之ヲ出スコトニナツタト云フ事情ヲ一ツ御諒察ノ上ニ、何カ修正、其他斯ウ云フ危険ガアルガ、此處ヲ斯ウシタラ宜カラウト云フヤウナ點ガアルナラバ、改メテ承ッテ考慮致スコトハ咨デアリマセヌ、ドウゾ……

○岩本委員長 山本君ニ御諮リ致シマスガ、今地方局長ハ他ノ委員會ニ出席シテ、一寸出席シ難イノダサウデス、ソレデ内務省ノ地方局ノ財務課長ガ説明員トシテ出席シテ居リマスガ、ソレデ宜シウゴザイマスカ

○山本委員 其方ガ却テ宜シイ

○岩本委員長 ソレデハアナタノ御質問ヲ願ヒマス

○山本委員 内務省ノ方ニ特ニ御出デヲ願ッタノデアリマスカラ、其點ヲ先ニ御尋致シマスガ、無論倉庫業法ニ直接關聯シタ問題ナノデアリマス、前日來他ノ委員カラモ御話ガアッタガ、普通ノ營業倉庫ト云フモノガ、農林省ノ農業倉庫ノ爲ニ非常ナ壓迫ヲ受ケテ居ル、其理由ハ農業倉庫ニハ、非常ナ過大ト申ス位ナ補助、助成ヲシテ居ル、然ルニ一方營業倉庫ハ何故困ルカト云フト、負擔ガ過重ナノデス、是ハモウ普通ノ營業倉庫業者ノ税金ノ大キナコトハ、先ヅ他ノ有スル營業ニ類ガナイ、ソレデ板谷君カ

ラモ度々繰返シ——質問サレタノニ對シテ、大臣ハ農業倉庫ニサウ壓迫モ受ケヤシマイ、小サナ都會ニマデ倉庫ガアルト仰シヤッタガ、ソレハ無論實情ヲ御存ジナイカラノコトデアッテ、農業倉庫ノ壓迫デ、小サナ都會ノ倉庫ハ殆ドモウ壓迫ドコロノ話デハナイ、營業ヲ休止シタ數ガ非常ニ多イ、其一番ノ理由ト云フノハ、今申シタ點ナノデス、是ハ多年ノ懸案デアルケレドモ、ドウシテモ地方廳デ——内務省直接デハアリマセヌ、地方廳デ諒解ノ出來ヌ一ツノ大キナ問題ガアリマスルカラ、之ヲ斯ウ云フ機會ニ一ツ内務省ノ方ノ御意見ヲ伺ッテ、恐ラク是ハ唯御伺シテモ御考ニナッテ居ラナイコトデアリマセウカラ、大體説明シナガラ聽キマスガ、營業倉庫ヲヤッテ居ル者ガ、税金ノ中デ一番苦シイノハ、地方税ノ家屋稅デア

ク税金ガ取レル、縣會アタリデハ、都會ノ議員ヨリハ農村ノ議員ガ多イモノデアリマスカラ、足りナクナルト、何時デモ之ニ持ッテ來ル、度々全國ノ倉庫業者カラ陳情シテ、各府縣共ニ輕減ヲ一遍圖ッタ、千分ノ二十五マデ下ゲタコトモアルノデアリマスガ、其方ハ又上ッテ來タ、是ハマア金額ハ大シタコトハナイ、所ガ市町村稅ト云フモノハ不均一賦課ニナッテ居ルモノデスカラ、非常ニ多クノ税金ヲ取ッテ居ル、是等ノコトニ付テ何か御調ベニデモナッテ居ルコトガアレバ伺ヒマスガ、ソレデナケレバ、モウ少シ述ベテ御答願ッテモ宜シウゴザイマスガ、如何デセウカ

○岩本委員長 只今山本君ノ御質問ニ對シテ、内務省財務課長ヲ説明員トシテ發言ヲ許シマス、——永安君

○永安内務書記官 内務省ノ政府委員ガ差支ゴザイマスノデ、私カラ現在ノ取扱ノ實例ニ付キマシテ御話ヲ致シタイト思ヒマス、先程ノ御質問ハ、一般的ノ家屋稅ガ認メラレテ居ラナカッタ以前、即チ大正十五年度以前ニ於キマシテハ、私法人建物稅トシテノ負擔ガ相當アッタガ、地方稅制ノ改正ニ依リマシテ、家屋稅トシマシテハ、即チ府縣稅ト致シマシテハソレ等ノ負擔ハ輕

減セラレタガ、市町村税ノ方ニ於キマシテ
家屋税附加税ノ方デ不均一賦課ヲ致シマシ
テ、法人ニ對シテ相當重ク取ツテ居ル、此
點ニ付テドウ云フ風ナ扱ヒヲ致シテ居ルカ
ト云フ風ナ御尋デアッタと思フノデアリマ
ス、家屋税ノ附加税ニ付キマシテハ、法令ノ
上デハ戶數割ヲ取ル所ト、戶數割ヲ賦課シ
難イ所トニ依ツテ分ケテ居ルノデゴザイマ
ス、即チ戶數割ヲ賦課シテ居リマスル所デ
ハ、本税ノ百分ノ五十ガ制限ニナツテ居リ
マス、ソレカラ戶數割ヲ賦課シテ居ラナイ、
賦課シ難イヤウナ市町村ニ於キマシテハ、
特別ニ課率デ制限ヲ設ケマセズシテ、戶數
割ト同ジヤウニ、市町村税總額ニ付キマシ
テ、ドノ程度ト云フ風ナ制限ノ仕方ヲシテ
居ルノデゴザイマス、隨テ現在不均一賦課
トシテ、特ニ法人ガ重クナツテ居ルト云フ
ノハ、戶數割ヲ賦課シ難イ市町村ニ於キマ
シテノ問題デハナクシテ、戶數割ヲ賦課シ
テ居ル市町村ニ於キマシテ起ル問題デアラ
ウトと思フノデアリマス、此點ニ付キマシテ
ハ、法人ガ特別ナ負擔ヲシテ居リマセヌ關
係上、市町村等ニ於キマシテ財源ガ非常ニ
困ル、サウ云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、
法人ニ或ル程度ノ負擔ヲセシメルト云フコ
トガ適當デアル、斯ウ云フヤウナ見地モア

リマシテ、又實際上財政上困難デアルト云
フヤウナ關係デ、原則トシテハ認メテ居リ
マセヌケレドモ、事情已ムヲ得ナイ市町村
ニ付キマシテハ、不均一賦課ヲ認メテ居ル
ノデゴザイマス、併ナガラソレニ付キマシ
テハ、一定ノ限度ヲ示シテ居リマシテ、其
限度以上ハ許シテ居ラナイヤウニシテ居ル
ノデゴザイマス、ソレハ先程申上ゲマシタ
ヤウニ、若シ戶數割ヲ取ラナカッタナラバ
ドノ程度マデノ負擔ヲスベキモノデア
ルカ、即チ戶數割ヲ假ニ家屋税附加税トシテ
徴收シテ居ッタナラバ、家屋税附加税ハド
ノ程度マデノ負擔ニナルカト云フコトヲ、
一應計算シマシテ、其限度ヲ超エテハ許サ
ナイコトニシテ居ルノデゴザイマス、隨テ
東京デアルトカ、大阪デアルトカ、其外戶
數割ヲ賦課シテ居ナイ市町村ガ可ナリゴザ
イマスルカラシテ、ソレ等ノ地方ニ較ベマ
スレバ、特別ニ法人ガ重イト云フ風ナコト
ハナイヤウニ努メテ居ルヤウナ次第デゴザ
イマス、併ナガラ不均一賦課ヲスル場合ニ
於キマシテモ、建物ノ種類デアルトカ、用
途デアルトカ云フ風ナコトヲ考ヘマセズ
ニ、總テ一律ニ取ツテ居リマスノデ、其點
ニ付キマシテ倉庫デアルトカ、或ハ工場デ
アルトカ云フモノニ付キマシテハ、サウ云

フ風ナ生産ノ設備等ニ付キマシテハ、特別
ニ輕クシテハドウカト云フ風ナ意見モゴザ
イマスノデ、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ、
内務省ト致シマシテハ、相當考ヘル必要ガ
アルノデハナイカト云フコトデ、税制整理
等ノ機會ニ於キマシテハ、ソレ等ノ點ニ付
テ十分考ヘテ見タイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ
居リマス

イ問題デアリマシテ、用途ヲ研究シテ課税
シナケレバイカヌ、例ヘバ日本銀行ノ支店
ガ北海道ニアリマス、是ハ恐ラク賃貸價格
ガ三萬圓位デアリマセウ、四五十萬圓掛ッ
建物デアアル、所ガ是ハ其建物デ儲カッテモ
儲カラナクテモ、大キナ商賣ヲシテ居ルノ
デアリマスカラ、之ニ私法人建物割ガ課ッ
テ、其中ニハ權門割、戶數割モ含ンデ居ル
ノデアリマス、ソレデ宜シイガ、ソレデモ
何カ文句ヲ言ッテ居ルノデアアルガ、ソレハソ
レデ宜シイ、所ガ會社ヤ銀行ト違ッテ、倉庫
ハ全財産ガ建物デアリマスカラ、資本金ト
云フモノハ一文モ持ッテ居リマセヌ、全財産
ノ百圓ナラ百圓ヲ全部建物ニシテ居ル者ニ
七圓五十錢、七倍半ノ税ヲ課スルト云フコ
トハ、今アナタノ御述べニナツタ趣旨トハ正
反對デアリマス、ソレデ用途ヲ調べテ、ド
ノ程度マデ下ゲテ來ルカト、斯ウナツテ來マ
スガ、例ヘバ茲ニ假定シテ一萬圓ノ賃貸價
格ノ倉庫ヲヤッテ居ル者ニ調べサセテ見タ
コトガアル、小樽、札幌デハ一萬圓ノ賃貸
價格ヲ有ッテ居ルモノガ家屋税ガ一年ニ三
百五十六圓課ル、ソレニ對シテ小樽、札幌
市ノ附加税ト云フモノガ二千六百七十圓課
ル、合計ガ三千二十六圓課ル、若シ之ヲ個
人デアルトドウカト云フト、人ニ依リマス

第六類第十號 倉庫業法案委員會議錄 第四回 昭和十年三月五日

○山本委員 只今ノ御説明ハ非常ニ能ク其
事情ヲ御存ジノヤウデアリマシテ、而モ御
存ジデアッテ、實行サレテ居ラスノデアリマ
スカラ、モウ少シ詳シク申上ゲマスガ、此
不均一課税ノ標準ト云フモノガ——私ハ北
海道ノ例ヲ隨分詳シク調べテアリマスシ、
又全國のニ此附加税ノ率ハ、大體ノ都市ニ
付テハ調べテ居リマスガ、本税一圓ニ付テ
一番高イノガ、北海道ノ室蘭ノ十一圓五十
錢、家屋税一圓納メルト、私法人ガ十一圓
五十錢取ラレル、札幌ガ九圓、小樽、旭川等
ガ七圓五十錢、熊本ガ一圓十二錢ト云フヤ
ウニナツテ居ル、サウシテ其附加税ハ、只今
申ス通りニ戶數割ノ關係デアリマシテ、例
ヘバ室蘭ノ如キ十一圓五十錢取ル所ニ對シ
テ、個人ハ二圓七十五錢、小樽アタリハ七
圓五十錢取ル所デ、個人ハ四十六錢、是ハ
無論戶數割ノ關係デアリマス、是ハ隨分古

人デアルトドウカト云フト、人ニ依リマス

ルケレドモ、其建物ダケノ財産デ倉庫ヲヤツテ居ル個人ガアルトスルト、家屋税ハ同ジコトデアリマスカラ、三百五十六圓、ソレニ戸數割ガ——此調ハ少シ私ノ見ル所デハ多ク報告シテアルヤウニ思ヒマスケレドモ、假ニ之ヲ標準トシマス、所得ニ對スル百分ノ二・一デスカラ、所得ヲ一萬四千圓位ト見テ、一寸三百圓位デス、ソレカラ財産割酌割ト云フモノヲ——土地ノ財産ヲ評價シテ居リマスガ、是ハ四百圓位課ル、ソレカラ家屋ノ賃貸價格ニ對スル財産見當デ百圓バカリ取りマシテ、八百圓位課ル、合計シマシテ少シ多過ギルト思フノデスケレドモ、千四百圓程課ル、今ノ御趣意ニ依ルト、ヤハリ御諒解ノヤウデアッテ、個人ト違ハヌヤウニ成ルベクシタイト云フ御趣意デアリマスケレドモ、事實ニ於テハ倍以上多ク負擔シテ居ル、所ガ倉庫ハ大體ニ於テ私法人組織デアリマシテ、餘程ノ資産家デアッテモ、個人デハヤッテ居リマセヌ、統計ヲ見テモヤッテ居リマセヌ、大部分私法人デアリマス、此負擔ト云フモノニハ餘程弱ッテ居ル、假ニ北海道ニスレバ、道廳ニ向ッテ隨分陳情スルケレドモ、中々聞カヌ、道廳ハ聞イテモ、市町村ガ又陳情シテ壞シテシマフト云フ譯デ、地方税トシテモ中々負ケテ吳

レヌシ、附加税デモサウデアアル、斯ウ云フヤウナ狀態デスカラ、先日來一番問題ニナツテ居ル農業倉庫ノ壓迫ト云フコトノ、一番大キナ問題ハ負擔ノ問題デアル、農業倉庫ハ何ニモ負擔シナイ、其上ニ建築費モ殆ド全部事實上ハ補助ヲ受ケテ居ル、斯ウ云フ關係デアリマスカラ、今ノ御話ニ依リマスルト、サウ云フコトノナイヤウニ均等ニスベキモノデアルト云フ御趣意デアレバ、税制整理カ何カノ時分ニヤラウト思フ位デナク、斯ウ云フ一面立派ナ法律デアリマスルガ、同時ニ非常ニ倉庫業者ニ面倒ナ負擔ヲ掛ケル法律デ束縛スル以上ハ、之ヲ助長スル意味ニ於テ、斯ウ云フ機會ニ内務省デモ私法人建物割ニ關スル御調ダケハモウ少シ急速ニ御調ニナッテ、何トカ救済ヲシテヤルベキモノデハナイカト思ヒマスルガ、ドウ御考ニナリマスカ

○永安内務書記官 先程私ガ申上ゲマシタノハ、現在内務省ニ於キマシテ取扱ッテ居リマスル一般方針ヲ申上ゲタ譯デゴザイマス、隨テ新ニサウ云フモノヲ認メマスルモノニ付キマシテハ、總テ其方針ニ從ッテ居ル譯デアリマス、唯只今御話ニナリマシタノハ、大正十五年ニ地方税制ガ改正ニナリマシタ時ニ、從來私法人使用建物税ノ附加税ト致

シマシテ、相當ナ負擔ヲセシメテ居リマシタ市町村ガゴザイマスノデ、ソレ等ニ付キマシテ一律ニ先程申上ゲマシタヤウナ方針ヲ執ラシメルト云フコトニ致シマス、個人ノ負擔ガ非常ニ増加スルト、斯ウ云フコトニナリマスノデ、殊ニ經濟界ノ不況ノ折柄デモアリマスノデ、從來ヨリ非常ニ負擔ガ増加スルト云フコトハ、避ケナケレバナラスト云フ風ナ事情ガアリマシタノデ、法人ノ方ニ對シマシテハ、洵ニ御氣ノ毒トハ思フノデアリマスガ、左様ナ關係デ負擔ノ激減ヲ避ケルト云フ、サウ云フ意味デ特別ニ高ク課ケテ參ッテ居ルヤウニ存ジテ居ルノデアリマス、併ナガラ斯ノ如キ狀態ヲ何時迄モ續ケテ行クト云フコトハ、是ハ勿論適當デゴザイマセヌノデ、此數年來サウ云フモノニ付キマシテハ漸次改メル、一時ニ改メルコトハ非常ニ困難デアリマスカラ、三年トカ或ハ五年トカ云フ風ニ期間ヲ限リマシテ、少シ宛減シテ行ッテ、成ベク先程申シマシタヤウナ方針ニ合スト云フ風ナコトデ、今ソレノ條件ヲ付シマシテ許可ヲシテ居ルヤウナ狀態デゴザイマス、是ハ近ク先程申上ゲマシタヤウナ方針ニ合フコトデアラウト考ヘマス

○山本委員 大臣若クハ政府委員ノ御答辯

デアリマセヌカラ、事務的ノコトダケヲ伺ッテ置キマスガ、尙ホ一ツ御傳ヘヲ願ヒタイト思フノデアリマス、只今ノ御趣意デ洵ニ結構デアリマスガ、其御方針ノ中デ、二ツニ分ケテ、同ジ私法人デモ前申シタ如クニ、大キナ商業ヲシテ居ル店舗ノヤウナモノ、負擔ハ、是ハ大キクテモ負擔力ガアルノデアリマスガ、事務所ヲ除イタ倉庫ノ賃貸價格ニ對スル課税及附加税ハ、別ニ用途ヲ御研究ニナッテ區別爲サッテ、用途ニ依ッテ低率ノモノヲ課スル、斯ウ云フ御方針ニ願ヒタイ、市町村ノ收入ガ激減スルト、一方ニ過重ニナリマスカラ、之ヲ漸減サスト云フコトハ御尤デアリマスガ、モウ大分年數モ經ッテ居リマスカラ、個人ト同ジ商賣ヲシテ居ッテ、個人ト私法人トノ違ヒガナイト云フ所マデハ之ヲ御ヤリニナラスト非常ニ不公平ニナリマス、私法人建物ニ對シテ公平ニ課税シテ行クト云フコトガ一ツト、モウ一ツハ個人デアラウガ、私法人デアラウガ、此倉庫ノ建物ニ對スル家屋税ハ普通ノ家屋税ト同ジニスルト云フコトハ無理デ、餘程低率デヤッテモ——東京ノ三菱アタリノ倉庫デスト、是ハ元非常ニ安い地面ヲ買ッタモノデスカラ、辛ウジテ配當ガ出來ルノデアリマスガ、全ク普通ノ商賣、若クハ銀行

ヨリモ薄利ナ商賣デスカラ、之ヲ斯ウ云フ法律ヲ縛ツタ上ニ、サウ云フ風ノコトヲ何モ見テヤラスト云フコトハ、少シ苛酷デアリマスカラ、内務省ノ方トシテモ、私法人ニ對シテハ個人ト同ジニスル、ソレカラ一般倉庫ノ建築物ニ付テハ、家屋稅關係ノ課稅ハ、普通ノ住居若クハ他ノモノヲ見ル時ヨリハ、安ク見積ツテ戴ク、此二ツノコトヲドウカ御含ミノ上、出來ルダケ速ニ御實行ヲ願ヒタイト思ヒマス、是デ私ハ内務省ニ對スル質問ヲ打切りマス

○岩本委員長 山本君ニ御諮リヲ致シマスガ、只今ノ御質問ハ、相當重大ナ問題デアリマスカラ、此答辯ハ内務大臣若クハ地方局長ニ求メタラドウカト思ヒマス

○山本委員 大臣デナクトモ宜シイガドウスル方針ダト云フコトヲ、御相談ノ上デ次ノ機會ニ御述べ下サレバ結構デス

○岩本委員長 ソレデハサウ云フ風ニ御傳ヘヲ願ヒマス

○板谷委員 只今山本君ノ質問ニ對スル政府ノ説明ヲ聞イテ居リマシタガ、私法人ノ建物ニオヤリニナルト云フコトハ、今山本君ガ縷々述ベラレマシタ通り、重大ナル關係ヲ持ッテ居リマスノデ、隨ッテ此案ノ運命ニモ相當及ボス影響ガ大デアルト、斯ウ考

ヘルノデアリマスルカラ、能ク御相談ニナツテ戴キマシテ、漸次改善スルトカ、或ハ一般稅制整理ノ際ニヤルト云フヤウナコトデナク、具體的ニ一ツ御答辯願ヘレバ大變都合ガ宜シウゴザイマスカラ、左様ニ御傳ヘヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ先程村瀨政府委員カラ許可ノ基準ニ付テノ御話ガアリマシタガソレモ一ツ具體的ニ書面デ御示シ願ヒタイ、ソレダケ要求致シマス

○岩本委員長 局長宜シウゴザイマスカ

○村瀨政府委員 承知致シマシタ

○岩本委員長 他ニ御質問ハアリマセヌカ——ソレデハ本日ハ他ニ質問ノ通告ガアリマセヌカラ、此程度デ散會致シマス

午前十一時四十一分散會

昭和十年三月五日印刷

昭和十年三月六日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社